

令和3年度 講座実施報告書

1 概要

講座の名称	“あいとぴあ”フォーラム・長野県男女共同参画推進県民大会				
講座の目的	<p>男女共同参画社会の実現のためには、一人ひとりの個人としての尊厳が尊重され、性差による固定観念にとらわれず、女性も男性も生きづらさを抱えることのない環境づくりが重要となる。</p> <p>固定的性別役割分担意識等を植えつけない、押しつけないための取組とともに、固定的性別役割分担意識に基づく社会慣行・しきたりの見直しを進める必要があるため、「アコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」に気づき、新しい社会づくりを考える機会とする。</p>				
募集対象	(設定なし)				
定員人数	オンライン視聴 100名 あいとぴあ 60名 飯田市 60名 伊那市 60名 大田市 30名 佐久市 30名 千曲市 50名 東御市 60名 豊丘村 30名	申込人数	オンライン視聴 44名 あいとぴあ 20名 飯田市 18名 伊那市 37名 大田市 20名 佐久市 33名 千曲市 13名 東御市 26名 豊丘村 10名	当日参加人数	オンライン視聴 42 接続 59 名視聴 * 1つの接続で複数 名の視聴あり あいとぴあ 16名 飯田市 21名 伊那市 32名 大田市 19名 佐久市 25名 千曲市 11名 東御市 24名 豊丘村 10名
申込方法	[オンライン] ながの電子申請サービス [会場] ながの電子申請サービス、FAX、電話				
託児	[あいとぴあ会場] 0名				
回数	1回				
開催場所	・オンライン (YouTube ライブ) ・会場：長野県男女共同参画センター“あいとぴあ”ホール ・サテライト会場：飯田市、伊那市、大田市、佐久市、千曲市、東御市、豊丘村				
日時	11月7日(日) 13:20 ~ 16:00				
開催内容	13:30~14:30 講演：「人生100年時代を生きるすべての人にエールを」 講師：坂東 眞理子さん（昭和女子大学理事長・総長、元内閣府男女共同参画局長） 長くなった人生、後半期の過ごし方について、人生ビジョンの変化、ライフシフトをもとにお話し いただきました。また With コロナ時代の考え方、たしなみについてもお話しいただきました。				
	14:40~15:50 パネルディスカッション「『自分らしく』生きるってなんだ！」 ファシリテーター：古田 睦美さん（公立大学法人長野大学環境ツーリズム学部教授） パネリスト：福盛 二郎さん（イーキュア㈱取締役、ファザーリングジャパン信州メンバー） パネリスト：ノエミ・ゲルドラさん（高森町役場産業課特命職員、フランス出身）				

	<p>パ 礼 社：公立大学法人長野大学環境ツーリズム学部学生さん</p> <p>テーマ1 自分らしい社会との関わり方 自分らしい働き方とは</p> <p>テーマ2 幸せに生きること 自分らしい暮らし方とは</p> <p>テーマ3 自分らしく生きるために社会に望む“環境”</p>
<p>参加者の声</p>	<p><講演について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で新しい社会を作っていくためには、まず自分を変えていかなければならないと言うことが強く心に残った。“今”に合った大変よい講演だった。 ・とても内容の濃いお話でした。共感できることが多く、これからの人生前向きに生きて行こうと思います。 ・これからどう考え過すかヒントがたくさんありました。コロナを機に浮き彫りになった課題も、男女共同参画社会が進むと解決できることがあると思いました。 ・現状とこれからこうあるべきが大変明確でわかりやすかったし、社会に伝えるべき事がまだたくさんあるかと感じた。今後に活かしたいです。 ・自分自身を変える必要を学び、いろいろの気付きがあり大変良かったです。 ・時代の流れに沿って的確なコメントで大変勉強になりました。 ・改めて目が覚める思いがしています。身につまされます。また、マルチな人生とういものを現在実践してしまして、本日のセミナーに合致していて嬉しく思います。最後のたしなみもとても参考になりました。これも実行していけそうと考えます。 ・人生の後半でどの様な生活をしていくのか、男性、女性ともに早い時期から考えていくことが大切だと思った。男性は女性が担っていた仕事を理解し補っていく努力が必要、女性はもっと社会の中で活動する意義が必要と思う。 ・男女共同参画社会の実現に向けて、人生100年の時代に高齢者として引退するのではなく、仕事をやめた後の学び、社会との関わり方をしっかり考えて、豊かに生きていける人生設計を考えようと思えました。 ・平均寿命が延びているが、実際には健康寿命はそこまで高くなく、この差を縮めることが大事で、そのために大切にすることを学ぶことができたと感じます。 ・SOSの出し方、受け止め方を、自分の感覚ではなく学びとして体得したいと思います。高齢者かきくけこ、面白いですね。 <p><パネルディスカッションについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生さんの質問を中心にディスカッションを組み立てていったのがよかった。これから社会へ出ていく、社会を作っていく若者に対しての、社会で活躍している方々の答えが大変勉強になった。 ・ノエミさんのお話、フランスの様子など、とても興味を持ってました。福盛さんのお話で「子どもが生まれてから家事を勉強したのでは遅い。独身のうちから生活力をつけておくべき」とのお話や、家の中が知らないうちに片付けられていることは、自分以外の人がやってくれている……という気づき、大切だと思いました。 ・日本とフランスの違いを感じました。学生が結婚しないことを周囲から圧力に感じていると言うことに驚きました。社会をつくっている自分たちがどう生きたいか考えることが大事だと思った。若い世代の人がやりたいことができる希望を持てる社会をつくるのが、今働いている自分たちの役割だと思った。

・生きるために働くのではなく、人生たのしむために働くと考えが少し違うだけで全く生き方が変わるんだなと思った。日本の男性は経済力を求められてしまうので、結婚すると転職とか開業もリスクに。生きづらさを感じる男性も多いと思う。日本は構造的に経済的な不安圧力、周囲からの偏見の圧力が強い社会なのかなと感じました。法律を変えることでてっとり早く社会認識を変えることに役立つと思う。(人の考え方、価値観、すりこみは根づよいので希望する人が自由に選択できる法律社会に変わっていくといいなあ。1人1人が自分の人生をゆたかにするために生きられる社会、助けあえる社会がいいです。

・もっと若者に聞いてほしいと感じました。

・日本の制度の中での男女共同参画を考えていかなければならないと思った。若い世代が「父親」ではなく親であること「あたりまえ」という考えを広めてほしい・・・

・小さな頃からどういう環境で育っているかで、成長した時にどういう意識をもつようになるか決まるのかなと考えさせられた。長野県や日本の今の環境がドラスティックに変わるのはあまり期待できないので、本当に自分らしく生きられる社会の実現はまだ先かなと思いました。福盛さんやノエミさんの考え方がこれからの学生、若者にいい影響を与えてくれればいいと思います。

・家庭における家業の役割分担については、手のあいている方がやればよいという、パネリストの話、よく理解できました。特にこれからは生活力をつけていくことが特に男性にとっては大事なことだと感じました。

・学生さんの率直の質問、声が良かった。困ったときはたすけて！が大切。ライフは人生のため、日本とフランスの違い等ナルホド共感！

<イベント全体について>

・サテライト会場で受講しました。安短でこのようなセミナーが受けられるのはありがたいです。

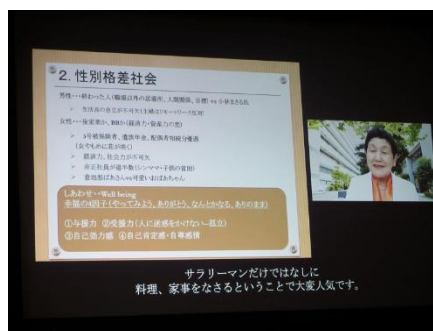
・今までだと大きな会場でフォーラムなどを開いていたと思いますが、リモートで近くの会場でこの様なフォーラム参加することが出来よかったです。これからもこのような企画をお願いします。

・久しぶりのイベントでうれしかったです。ただ、オンラインはやはり見てて、聞いてて、慣れないところ聞きづらい面がありました。

・リモートの講演会はやっぱりツライです。対面のイベントがいいな。



チラシ



坂東講師



パネルディスカッション



古田さん



福盛さん



ノエミさん



長野大学学生さん



あいとぴあ会場



飯田会場



伊那会場



大町会場



佐久会場



千曲会場



東御会場



豊丘会場